

きよたんて

vol.32

蓬莱の郷・京丹後

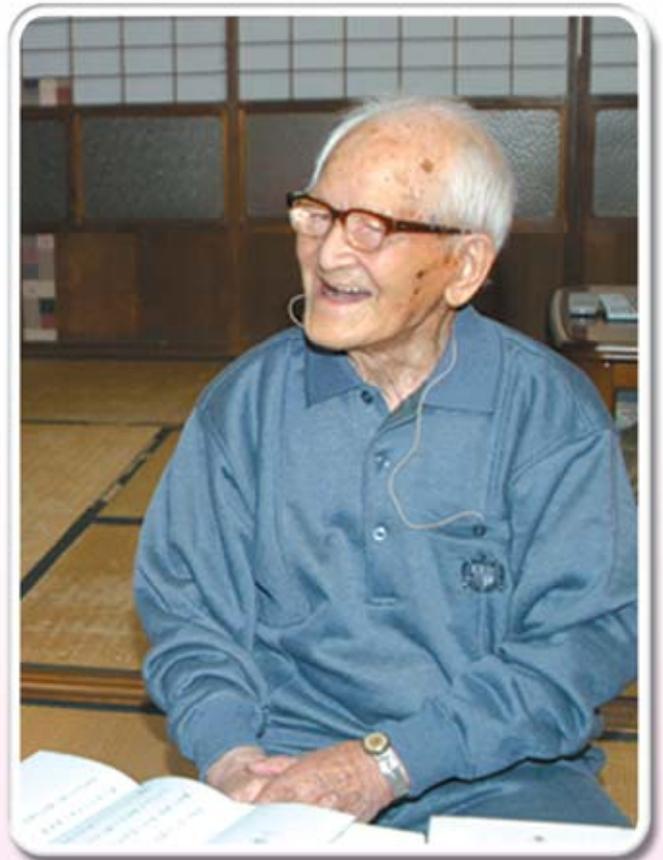
100歳以上のかたが47人！！

人口10万人に換算すると

京都府内28市町村で一番の74.9人

全国平均 (20人) の3.7倍

※「蓬莱(ほうらい)の郷」
中国で仙人が住み、不老不死の地と
信じられた想像上の仙境



おめでとうございます
長寿

京都府内男性最高齢 109歳 木村次郎右衛門さん (丹後町中野)

主な内容

- ◆低額・便利で魅力的な公共交通網をめざす
上限200円バス実証運行を開始
- ◆京都エコエネルギープロジェクト視察者 1,000人突破
- ◆友好関係を継続・発展 中国・安徽省亳州市と友好都市提携

低額運賃 上限200円バス 実証運行路線図

- 間人循環線
 - 海岸線
 - 間人線
 - 弥栄病院線
- バス停の新設6か所
● 名称を変更するバス停
- 農協前 ⇨ 杉谷上
 - 高校下 ⇨ 弥栄分校前
 - 掛津 ⇨ 琴引浜
 - 間人口 ⇨ 間人岡成
 - 診療所前 ⇨ 間人診療所前
 - 中央病院前 ⇨ 丹後中央病院前
 - 三宅橋 ⇨ 三宅



市では、今回の実証運行にあわせ、市内の公共交通機関のバスと鉄道の時刻表をひとまとめた「京丹後市バス・鉄道時刻表」を作成し全戸に配布しました。ぜひ、ご利用ください。



| 回数券（区間運賃200円の場合） | | | 定期券（区間運賃200円の場合） | | |
|------------------|-------|-----------------|------------------|--------|---------|
| 回数券種類 | 枚数 | 料金 | 定期券種類 | 1か月料金 | 3か月料金 |
| 普通回数券 | 11枚綴り | 2,000円（10回分の運賃） | 通学定期券 | 6,240円 | 17,780円 |
| 通学回数券 | 13枚綴り | 2,000円（10回分の運賃） | 通勤定期券 | 7,280円 | 20,750円 |
| 昼間回数券 | 13枚綴り | 2,000円（10回分の運賃） | | | |

※昼間回数券は、10：00～16：00までの乗降車に使用できます。
※区間運賃200円の回数券は、峰山市民局・網野市民局・丹後市民局・弥栄市民局およびKTR網野駅でも販売しています。

こんなに安くなります！！

低額・便利で魅力的な公共交通網をめざす

ご利用ください！！

間人循環型エリア内 上限200円バス実証運行を開始



側面に「感動半島・京丹後」の文字とともに、経ヶ岬灯台や立岩、屏風岩、太鼓山風力発電を、また後部には夕日ヶ浦の夕日の写真を車体にラッピングした特別仕様のバスが、第1便として出発



テープカットを行い運行開始を祝いました

実証運行の初日にあたる10月1日に、北近畿タンゴ鉄道峰山駅前で行った「出発式」には、関係者や地域の住民のみなさんなど約150人が出席し、盛大に待望のスタートを祝いました。

峰山高等学校吹奏楽部の軽やかな演奏で幕を開けた式典では、高見俊治丹後海陸交通株式会社取締役社長が「みなさんの熱い思いで実現することができました。みなさんに愛されるため最大限の努力を行っていきます」とあいさつ。また、中山市長が、関係者のみなさんに感謝の言葉を述べるとともに「さまざまな工夫を盛り込み運行実施に導いていただき、市のさらなる活性化につながるものと確信しています」とお祝いと期待の言葉を述べ、その後テープカットを行い、第1便の出発を拍手で見送りました。

利用者のみなさんの要望に応え、真の生活交通をめざすとともに、観光振興にもつながる利用しやすい公共交通の構築をめざし、「京丹後市地域交通会議」（会長・中山京丹後市長）では、丹後海陸交通の市内を走る四つのバス路線で、乗車一回の上限運賃を二百円とする低額運賃バスの実証運行を十月一日から開始しました。

同会議は、国土交通省近畿運輸局京都運輸支局や京都府、京丹後警察署、丹後海陸交通（株）、貸切バス事業者、タクシー事業者の代表、運代行事業者の代表をはじめ、市民のかたや公共交通の利用者の代表などで構成。利用者の立場にたち、経済的でありやすく、また使いやすい魅力的な「公共交通のネットワークシステム」の構築をめざし、昨年十二月から実施してきた住民のみなさんや高校生へのアンケート調査をはじめ、高校生との意見交換会を基に慎重に検討を進めてきました。

実証運行は、次の四路線で、計五十七便の運行を行います。

- ▽間人循環線（峰山―弥栄病院前―間人―網野駅前―峰山駅）
- ▽間人線（峰山―弥栄病院前―間人）
- ▽弥栄病院線（網野駅前―丹後あじわいの郷―弥栄病院前）
- ▽あじわいの郷―弥栄病院前―同路線の間人から峰山高等学校の場合では、大人一回乗車の七百円（子ども・障害者のかたは半額）だった運賃を二百円（同半額）と、大幅な引き下げを行っています。（二百円未満の短距離区間の料金はこれまでどおりです）

この連絡に配慮したダイヤ編成とするとともに、最終便を含め四便増便。観光客のかた向けの土・日・祝日ダイヤの導入や、毎週金曜日の夜に限り、峰山発二時三十分間人行きの最終便「花金バス」を新設しています。

停留所についても六か所を増設するとともに、通院に便利なように弥栄病院前の停留所を玄関先に移動。丹後あじわいの郷では停車位置を正面入口に変更しています。また、実証運行の範囲に含まれない海岸線の経ヶ岬―丹後庁舎前は、停留所以外でも乗降いただけるフリー乗降区間としています。

実証運行を行う対象路線

利用しやすいダイヤ編成

利用しやすい停留所の設置

環境

京都エコエネルギープロジェクト視察者 1,000人突破！！

市では、環境にやさしいクリーンなエネルギーで、電力を供給する実証研究を市内で行っています。これは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO技術開発機構）からの委託研究事業として、京丹後市を舞台に実施している「新エネルギー等地域集中実証研究」で、「京都エコエネルギープロジェクト」という名称で取り組んでいます。

この実証研究のための施設設備は昨年完成。昨年十一月から全面稼働し研究を進め、国内外から注目を浴びています。

昨年十一月の全面稼働から本年十月までの十一か月間で、同施設への視察者が一、〇〇〇人を超えました。主な視察者は、国内外の大学関係者、エネルギー関連企業をはじめ、行政関係者、環境NPOなどで、最近では市内の各種団体や企業の視察も増えてきています。



京都エコエネルギー研究センター



わずか11か月で1,000人を超すかたがバイオガス発電施設を視察

新エネルギーの普及に向けて取り組んでいる「京都エコエネルギープロジェクト」は、世界的にもめずらしい実証研究であり、環境循環都市をめざす京丹後市を象徴する取り組みです。

地球規模の課題

〜新エネルギーの普及〜

人類が、持続可能な発展を続けるためには、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料の枯渇による「エネルギー問題」と、化石燃料の使用により排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが原因の「地球温暖化」という地球規模の大きな問題を解決しなければならず、そのためには化石燃料に依存しない新エネルギーの普及が欠かせません。

「京都エコエネルギープロジェクト」では、バイオガス発電施設・太陽光発電施設・風力発電施設を弥栄町内に設置して、新エネルギーを普及させるためのさまざまな課題を解決する研究を進めています。



太陽光発電施設 溝谷・吉野地区農業集落排水処理施設



風力発電施設 丹後あじわいの郷「王国タワー」

安定した電力供給をめざして

自然エネルギーを電気にかえる



スイス村山頂に設置している風力発電施設

太陽光発電と風力発電は、気象条件によって発電量が変動するため、安定した電力供給が困難ですが、人為的に発電量を操作できるバイオガス発電などと組み合わせ、太陽光発電・風力発電の発電力量予測と電力

を消費する側（弥栄庁舎・市営団地など）の電力需要予測に基づき、必要なときに必要なだけバイオガス発電による電力を供給する、効率的で安定した電力供給システムの構築を目的としています。

広がる利活用

京丹後市の魅力向上

- バイオガス発電の原料を排出する食品工場の誘致
- バイオガス発電施設から発生する熱、バイオガスの活用について研究
- バイオガス発電から発生する発酵後の残さと消化液の活用について研究
- 新エネルギー学習施設として活用
- 観光資源（エコツーリズム）として活用
- 災害時などの非常用電源としての活用方法について検討



バイオガス発電の残さを使った栽培実証試験を開始

バイオガス発電の残さ（ヒールかすやおからなど）の発酵後の残さを使った農作物の栽培実証試験を行っています。この試験が成功すれば、「食品廃棄物⇄エネルギー（電気・熱）⇄堆肥⇄田畑⇄食品」の循環が成立し、「環境にやさしい京丹後市の農産物のブランド」づくりが推進できます。

安心・安全
循環型農業の確立へ

市内の六農家の協力を得て、バイオガス発電の原料として投入される食品廃棄物（コイ

※施設の見学を希望される場合は、環境推進課（☎六九一〇二三〇）へご連絡ください。

“近未来の低公害車” 燃料電池自動車で環境保全をPR



「歴史街道丹後100kmウルトラマラソン」の60kmコースを先導した燃料電池自動車

市では、環境にやさしい「近未来の低公害車」と呼ばれ、実用化が期待される「燃料電池自動車（FCV）」を活用し、九月十六日から二十二日にわたって展示試乗会などを実施して、市民のみなさんに大気環境保全の大切さをPRしました。

「燃料電池自動車」は、燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーでモーターを回して走り、ガソリンのかわりに水素を補給。地球温暖化や大気汚染の原因となる二酸化炭素、窒素酸化物などを排出しないだけでなく、騒音も少なく、エネルギー効率も高いことから、全世界から注目を集めています。

今回の啓発事業は、環境省が保有する国内外で十八台しかない本田技研工業のFCVを借り受けて実施。

九月十七日には、「歴史街道丹後一〇



黒部小学校での「出前環境学習会」で、子どもたちが「燃料電池自動車」に試乗

九月二十二日に行った黒部小学校での「出前環境学習会」では、NPO法人「エコネット丹後」の梅本修理事が、地球温暖化の仕組みや影響についてわかりやすく解説。「燃料電池自動車」とともに、廃食用油からつくられたバイオディーゼル燃料で走る「トラクター」も持ち込み、環境保全の大切さを訴えました。

市の豊かな海を活かした 特色ある「海業（うみぎょう）」を推進

委員のみなさん

(敬称略)

| | | |
|-----|--------|-----------------|
| 会長 | 岡田 政義 | 網野町漁業協同組合 |
| 副会長 | 板垣 久彌 | 久美浜町観光振興会 |
| | 佐々木新一郎 | 丹後町漁業協同組合 |
| | 志村 朝雄 | 丹後町観光協会 |
| | 田中 治 | 丹後商工会連絡協議会 |
| | 中江 伸子 | 京都北部商工会女性部連絡協議会 |
| | 長濱 孝次 | 網野町観光協会 |
| | 野村 知史 | 京都府漁業協同組合連合会 |
| | 広瀬佐代子 | 丹後地域漁村女性のつどい |
| | 和田 市郎 | 湊漁業協同組合 |

市では、従来の漁業だけでなく、観光やスポーツ、教育、文化などを包括し、「海」の総合的な活用・振興を図る「京丹後市海業（うみぎょう）振興協議会」をこのたび発足しました。

同協議会は、市の豊かな海岸、漁港などの魅力あふれる資源を活かした漁村地域の新たな産業・経済活動を「海業」として位置づけ、漁業、観光業、商工業などの関係者

が連携を取りながら総合的に推進し、漁業振興や漁村地域の活性化に加え、商工観光業などの振興を図る目的で設置。市の「海業」の可能性と推進方法について調査・研究を行い、本年度中に「海業推進事業計画」を策定し、事業プランの具体化を進めていくこととしていきます。

同協議会は、網野町・丹後町・湊の漁業協同組合をはじめ、海に面した各町の観光協会、丹後商工会連絡協議会、丹後商工会連絡協議会など十人で構成。

また、京都府水産事務所の戸嶋孝海のにぎわい課長と京都府丹後広域振興局の野村光春農林商工部企画調整室長をアドバイザーに迎え、助言を行っていただきます。

九月二十一日に開催した第一回会議では、会長に岡田政義さん（網野町漁業協同組合）、ま

「海」の総合的な活用を調査・研究 「京丹後市海業振興協議会」

発足

た副会長に板垣久彌さん（久美浜町観光振興会）を選任。▽船上での網揚げや浜売りなどの「漁業体験」、▽漁師料理の提供や未利用の海洋資源の活用などの「水産物加工」、▽ダイビングやシーカヤックなどの「マリッジジャー」の拠点づくりの三事業を柱に、「海業推進事業計画」の策定を進めるとともに、今後のスケジュールなどを確認しました。

委員のみなさんからは「雨が降っても、雪が降っても『丹後に行きたい』と思ってもらえるような、お客さん本位の考えが必要」、「昔からのことにこだわらず、壁を取り払う見が交わされました。



日本海側で初めて クルマエビの養殖の取り組み 豊嶋 聡さん（久美浜町湊宮）



色あざやかで活きのいい最高のクルマエビを選別される豊嶋聡さん

豊嶋さんは「はじめの十年ぐらいは失敗ばかりで苦労の連続でした。毎年同じことをやっていますが、気温や水温などが毎日異なるので永年の「経験・勘」が頼りです。久美浜湾の穏やかで美しい水が養殖には最適」とこれまでの苦労をみじんも感じさせない笑顔で気さくに話していただきました。また、今後について「できることなら息子が後を継いでくれたらうれしい」と目を細められています。

久美浜町湊宮の豊嶋聡さんは、昭和三十八年に山口県ではじめられたクルマエビの養殖を、わずか四年後のまだ技術的に未確立な段階から、日本海側で初めて取り組みました。

現在でも、京都府で唯一のクルマエビ養殖場として、年間約一・五トを京阪神や山陰地方に出荷。また、四国や石川県などに、種苗も約四〇〇万匹出荷されています。

豊嶋さんは、クルマエビの養殖に適した久美浜湾での技術を永年にわたって改良されてこれられ、その功績が高く評価され、平成十七年度には京都府の農林水産業の貴重な生産技能として「京都府農産漁村伝承技能登録者」に認定されました。

全国の農業者が集う 「全国土地改良大会」で 京丹後の魅力をPR

10日夜に開かれた「交流会」で出された「丹後米」は、参加者のみなさんからたいへん好評をいただきました



京都府で初めての開催となる今回は、「おこしやす 歴史育むふるさとへくいにしえの時空（とき）を超えて 今 伝えたいことがあります」をテーマに、全国の農業関係者約四千三百人が参加し、盛大に開催されました。

十月十日に国立京都国際会館（京都市左京区）で開かれた大会式典では、農業の重要性を広く呼びかけるとともに、土地改良事業に功績があつたかたに農林水産大臣賞などが贈られました。また、昼食には京丹後市産のコシヒカリを使用した「丹後こしひかりの京風弁当」を用意し、丹後米をアピールするとともに、会場内に設けた展示・物販ブースでは、丹後米やサツマイモ、梨、地酒、紫ずきんなどの自慢の特産品の魅力を紹介しました。

翌十一日と十二日には、大会出席者が七コースにわかれ、府内の農業先進地などを事業視察。



丹後米のアピールのため大会式典で用意した「丹後こしひかりの京風弁当」

京丹後市を訪れるコースには、北海道や青森、岩手、山形、東京、鹿児島などから、一泊コースでは最大となる約三百三十人が参加され、国内最大規模の面積を誇る国営農地開発事業をはじめ、ブランド化を図る「丹後米」とともに、観光関連施設などを熱心に視察されました。

参加者は「国営農地では耕作者と地権者が異なる非常にめずらしい状況の中、広大な面積の管理が行き届いている」と驚かされるなど、京丹後市の魅力を存分に感じていただきました。



11日に、丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）で行った視察団の歓迎式典では、久美浜太鼓の勇壮な演奏が披露されるとともに、中山市長が京丹後市の魅力をPR

安心・安全な有機野菜の提供を図る ワタミ株式会社 渡邊美樹代表取締役社長 来市



安心で安全な食の提供を図る、大手外食チェーン「ワタミ株式会社」の渡邊美樹代表取締役社長が、十月二日に京丹後市を訪れ、同社の関連会社で国内最大規模の農業生産法人「有限会社ワタミファーム」が関西圏で初めて、昨年八月に有機農場として開設された国営農地の弥栄町鴨谷団地と網野町島津の二団地を視察されました。

同社は、関東を中心に居酒屋「和民」をはじめとした外食チェーンを約五百店舗経営されるとともに、「安心・安全な有機栽培」を行う農業生産事業にも本格参入され、グループ店や量販店、通信販売などへ販路を拡充。京丹後市においても国営二団地の合計五ヘクタールで、有機・完全無農薬栽培により、京みず菜やトマト、玉ねぎ、にんじんなどの栽培に取り組みされています。

渡邊代表取締役社長は中山市長とも会談。「健康の基本は『食』であり、私たちがめざす安心・安全な『食』の提供に京丹後市は最適。ぜひ、京丹後市の食材を全国に発信したい」と話され、今後さらに耕作面積を拡大される予定です。

友好関係を継続・発展 中国・安徽省亳州市と友好都市提携



市では、「友好交流と協力関係を結ぶ意向書」を交わしている、中国安徽省（あんきしょう）亳州市（はくしゅうし）と、産業や観光、科学技術、文化、教育、スポーツなど幅広い分野で交流をさらに深め、友好・協力関係を発展していくため、10月6日に丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）で「友好都市提携」の調印を行いました。

友好都市提携

市として初めてとなる「友好都市提携」を締結した中国安徽省（あんきしょう）亳州市（はくしゅうし）は、中国東部に位置し、人口は約五百四十万人、面積は京都府の約一・八倍の約八千四百平方キロメートル。葉草の栽培が盛んで「薬の都」として名高く、毎年九月には中国最大級の葉草市が開かれています。

両市の交流は、平成十六年に丹後町と弥栄町の商工会が、丹後半島に生育する約三百種の豊富な葉草を活かした取り組みの一環として、亳州市を訪れたことをきっかけに民間レベルの交流をスタート。昨年四月と十月には、亳州市の視察団を受け入れるとともに、十一月には「京丹後市・亳州市友好交流協会準備会」（今度勝会長）が亳州市を訪問するなど互いに交流を深め、十月に来丹された際に「友好交流と協力関係を結ぶ意向書」を交わしました。また、今夏には、市内の中学生十八人が、「青少年中国交流団」として亳州市を訪問し、学生同士の交流やデイスティを体験するなど、友好関係を築いてきます。

中山市長は「両市の市民のみなさんが互いに訪問できるような場を設定し、友好関係を深めていきたい」と述べ、方市長は「手をつなぎ、力を合わせ、両市の市民の友情が未永く続くことを望みます」と、友好都市の提携を喜び合いました。

両市では今後、市民のみなさんの交流の推進に、交流団の定期的な訪問や葉草を活用した事業の研究、また観光人口の増加など、さまざまな分野で関係の強化を図っていきます。



「調印式」前日には、丹後あじわいの郷で歓迎交流会を行い、今夏「青少年中国交流団」として亳州市を訪れた伊達愛美さん（大宮中学校三年生）がお礼を述べました。



「地域振興協議会」

市長に地域振興施策を提言

旧六町単位で設置され、まちづくりや教育などについて提言する「地域振興協議会」から、地域の振興施策について提言書をいただきました。

各協議会においては、平成十六年十月の設置から二年間にわたり、地域の現状や課題について、十三回から十五回にわたってたいへん熱心に協議を行っていただき、地域の振興施策として取りまとめられました。

各協議会の提言書には、産業振興、教育、医療・福祉、生活環境などの現状と課題、今後の方向性についての提言が盛り込まれています。

この提言内容は、九月十九日の大宮町地域振興協議会を皮切りに、十月十一日の久美浜町地域振興協議会まで、各協議会の席上で中山市長に説明が行われ、各委員さんからは、取りまとめの苦労とともに、子どもたちが帰ってくることでできる仕事場づくりなどのご意見をいただきました。

市としては、今後、各協議会でまとめられたご意見を尊重し、総合計画との整合性を図りながら、施策に反映するよう、しっかりと努めています。



各町の地域振興協議会長から中山市長に提言書が手渡されました

※各協議会の提言内容は、次号に詳しく掲載します。

■地域振興協議会とは

「合併により住民の意見が行政に届きにくくなる」との懸念を解消しようとして旧丹後六町合併協議会で設置を決定。

合併特例法が認める「地域審議会」は、期間を限定し、市長の諮問に応じて協議するのに対し、本市の地域振興協議会は、無期限で自由に協議、提言できるのが特徴です。

委員は、区長さんやまちづくり団体の役員のかたなど、各協議会十八人ずつの合計百八人で構成され、男女同数。任期は二年となっています。

【第2号】

「京丹後市まちづくり基本条例の制定をすすめる会」便り

～市民による市民のためのまちづくりをめざして～

「京丹後市まちづくり基本条例の制定をすすめる会」では、九月三十日に第五回全体会議を開催し、地方分権時代において、まちづくりを進めていくうえで、「市民のみなさんや行政がどのようなことを基本に考えて、また、どのように行動していくことが必要なのか」について意見を出し合い、思いを共有しました。

その中で、「市民の自己責任と行政の役割・領域を考慮すること」、「市民一人ひとりが権利を主張する前に、自分には何ができるかを考えること」、「市民と行政が協働していくこと」、「市民の権利と義務を明確化すること」、「市民と行政が同じ目線になること」などの意見が出されました。

今後、すすめる会では、これらの意見を基に、条例の項目として一般的に規定されている次のようなことについて、市の現状や課題を踏まえながら、条例に盛り込むべきことかどうかを検討を進めていきます。

- 前文
- 目的
- 定義
- 基本理念・基本原則
- 市民の権利・責務
- 事業者の権利・責務
- 情報共有の原則と施策
- 行政情報を知る権利

「京丹後市市民と行政の協働推進指針」では、この協働の領域を拡充・創出していくために、市民のみなさんと行政がより一層対話を行い、相互に理解を深めながら、行政が市民のみなさんに対して何をすべきか一辺倒でなくて、市民のみなさんと行政がともに考え汗を流して行動していくことが必要であるということが示されています。

まちづくり基本条例の「豆知識」②

「協働」ってなに？

「協働」とは、市民と行政が目的を共有し、対等な立場で互いを理解し、それぞれの役割を認識しながらともに取り組むということ。

- 個人情報保護
- 会議公開の原則
- 説明責任
- 意見・要望・苦情などへ応答
- 行政評価
- 条例の基本理念としての参加・協働
- 自治体（行政）運営と参加・協働
- 参加の権利・責務
- 総合計画などの策定における参加・協働
- 意見の提出および募集
- 住民投票
- 附属機関などへの参加
- コミュニティの意義と支援
- 自治体（行政）の基本的な役割・責務
- 首長の責務
- 職員の責務・育成
- 執行機関の組織・執行体制
- 総合計画に基づく行政運営
- 行政手続
- 総合的なサービスの提供
- 財政運営の基本事項 など

もしもの災害に備え、地域の連携を強化

三津で自主防災支援体制を確立

一昨年の台風二十三号や今年七月の大雨災害のような万一の災害のとき、地域の安全は地域で協力して守ろうと、十月一日、網野町三津区で、自主防災のための「三津防災会」が設立されました。

災害による被害を拡大しないためには、日ごろの防災に向けた意識づくりが、たいへん重要とされています。

しかし、地域の高齢化が進み、昔の村の特徴であった隣近所の付き合いも希薄になりつつある中、災害に備えた地域の連絡体制の整備が難しくなっています。

そうした中、「昔に戻ろう」を合い言葉に、積極的な隣組活動を展開する三津区の住民のみなさんが、今後の災害に備え、区民の安全と、被害を最小限におさえるための支援組織として同会を発足。同会は三津区と老人会(本田一成会長・百四十三人)、婦人会(水野美代子会長・五十六人)で役割を分担し、火災予防



風雨・土砂災害発生による避難勧告発令を想定し、区民センターに避難する区民のみなさん



地元消防団員のみなさんの指導のもと、初期消火の訓練や土のう積みなどを実施する三津防災会役員のみなさん

の啓発や、独居の高齢者・要介護者の把握、緊急時の避難誘導や救護活動、炊き出しなどにあたられます。

発足当日には、区民すべてを対象とした避難訓練も実施され、多くの参加者が見守る中、同会役員のみなさんは、「MITUBOSAI(ミツボウサイ)」と書かれたそりのジャンパーを着て、初期消火や土のう積みなど、地元消防団員のみなさんの指導を受けながら真剣な表情で、訓練を実施されました。

同会の末次祥孝会長は、「災害はいつ起こるか分かりませんが、もしものときに、何をすればよいか、一人ひとりが理解し、みんなで一致団結して、地域の安全を守るよう、み

んなの自主的な協力をお願いしたい」と話されました。

市にとって、市民のみなさんの生命と財産を守ることは最大の責務です。しかし、広域な京丹後市をカバーするには、消防団活動や自主防災組織をはじめとした地域住民のみなさんの防災に向けた日ごろの取り組みが不可欠であり、市では、地域住民のみなさんとの連携をさらに深め、より安心で安全なまちづくりへの取り組みを高めていきたいと思えます。

今後も、まちの安心・安全を守るため、地域のみなさんのご協力をお願いします。

間人地区土砂災害 応急工事完了に伴う住民説明会を開催

10世帯31人のかたへの避難指示を解除 9月30日



本復旧工事の概要や避難指示の解除などについて説明

七月の大雨により発生した丹後町間人の土砂災害以降、不自由な避難生活を余儀なくされていた避難指示区域の住民のみなさんに対して、応急復旧工事の完了にともなう住民説明会を九月二十五日、丹後地域公民館で行いました。

説明会には四十六人のかたが参加され、本復旧工事の予定や避難区域、避難指示基準などの見直し(緩和)、九月三十日をもって避難指示を解除することを説明しました。

今後の避難指示は、斜面に設置した地滑りセンサーの作動とともに、大雨(時間雨量40mm以上、または連続雨量百mm以上)により発令することを基本的に、気象情報などを総合的に判断することとしています。

災害時に無料の自販機を設置

近畿コカ・コーラボトリング(株)と災害時応援協定を締結



弥栄庁舎前に設置した「災害対応型自動販売機」

市では、近畿コカ・コーラボトリング株式会社(大阪府摂津市)と、大規模災害が発生し、被災者の応援が必要な場合に、市内に設置した「災害対応型自動販売機」内の飲料を、無償で被災者のかたに提供していただく「災害時における飲料の提供協力に関する協定」を締結しました。

市では、大規模災害に備え、市民のみなさんの迅速・的確な安全確保を図るため、京都府エルピーガス協会丹後支部や京丹後市アマチュア無線災害ボランティア、市内の郵便局などに「災害応援協定」を結び、ともに、さらにその拡充を進めているところですが、新たに今回の協定締結は、ライフラインが寸断された災害直後の応急救済として、たいへん有効な手段となります。

今回の応援協定では、市内の二か所(弥栄庁舎前駐車場・丹後地域公民館)に「災害対応型自動販売機」を各一台設置。同販売機と市役所を

パケット通信ネットワークで結び、大規模災害が発生した場合に、被災者のみなさんに無料で販売機内飲料の提供を行うものです。また、同販売機上部に取り付けたメッセージボードから、平常時には市民のみなさんへ地域情報やフラッシュニュースなどの情報提供を行うとともに、緊急時には、災害情報などのメッセージをリアルタイムで配信することができます。

十月十八日に、弥栄庁舎の会議室で行った「調印式」では、近畿コカ・コーラボトリング株式会社の常務執行役員・網塚市場開発部長と中山市長が「協定書」を交わしました。

中山市長は「防災・減災の対策を確立することは市政の柱であり、今回の協定は当市にとつてたいへん心強い」と感謝の言葉を述べ、また網塚市場開発部長は「万一のとき、被災者のかたへの迅速・的確な支援の一助となればありがたい」と話されるとともに、今後台数を増やしていくことを約束していただきました。



協力を約束し固い握手を交わす、近畿コカ・コーラボトリング株式会社の常務執行役員・網塚市場開発部長(左)と中山市長

防災意識の高揚に「防災啓発ポスター」を作成

京丹後建設業協会

防災の啓発を図ろうと、京丹後建設業協会(上田俊六会長)が、市内の小中学生を対象に初めて募集された「防災啓発ポスター」の入選作品表彰式が、十月十九日にアグリセンター大宮(大宮町口大野)で開かれました。

同ポスターは、一昨年の台風二十三号の被害を教訓に、防災に関する図画を描くことで、子どもたちや家庭で防災意識を高めてもらおうと、市内六町の小学校四年生以上の児童を対象に、巡回して募集。今回は、大宮町内の三小学校で開かれました。

を対象に募集し、百四十一人の力が寄せられ、特選七点と入選三点を選びました。

同協会では、入選以上の作品でポスターを作成し、万が一の災害に備えて防災備蓄品を整備されている同協会防災倉庫(峰山町杉谷)壁面の掲示板などに貼って、広く市民のみなさんに防災を呼びかけていくこととしています。



京都府丹後広域振興局長賞 田崎 葵さん



入選されたみなさん

| 賞状 | 氏名 | 年齢 | 学校 |
|---------------|-------|-----|---------|
| 京都府丹後広域振興局長賞 | 田崎 葵 | 6年生 | 大宮第三小学校 |
| 京丹後市長賞 | 今西沙也加 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 丹後労働基準監督署長賞 | 吉岡優太郎 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 京都府丹後土木事務所長賞 | 大下都賀砂 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 京丹後市教育委員会教育長賞 | 金森 理剛 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 京丹後市消防長賞 | 平井 萌子 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 京丹後建設業協会長賞 | 藤村 勇歩 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 入選 | 吉岡 杏樹 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 入選 | 水口 愛理 | 6年生 | 大宮第一小学校 |
| 入選 | 田中 裕登 | 6年生 | 大宮第一小学校 |

積雪10cm以上で出動 安全で安心な冬を過ごすために 除雪にご協力をお願いします

寒い北風が吹き、降雪の季節がやってきました。市では、本年度の「除雪計画」を策定し、「白魔」に備えます。昨年の経験を踏まえ本年度は、除雪期間を十一月一日から来年三月十五日までとし、積雪が10cm以上になると、状況判断し早朝出動により市道延べ一千四百六十路線、総延長四八二キロメートルを除雪。京都府が行う国道・府道の除雪と連携して、交通の便を図ります。

また、降雪状況によっては、除雪対策本部を設置して、雪害の防止対策を行うこととしています。

除雪を安全に、また迅速に行うため、次のことに注意いただくことも、みなさんのご協力をお願いします。

**道路上には
絶対に自動車などを
置かないでください**

除雪車が車を傷つけたり、脱輪横転するなどの事故につながります。また、そこから先の除雪ができません。みなさんのご迷惑になります。やむを得ず置いたときは、その大きさがわかる赤い標識などを立ててください。

**屋根の雪を
道路上に
おろしたときは**

各個人で排雪してください。また、路上に雪をばらまくかたを見かけますが、凍結などによって歩行者の転倒、自動車のスリップなどの事故につながりますので慎んでください。

**積雪が多くなると
路上以外に
雪を押し出さざるを得ません**

庭木や農作物、塀などを破損する恐れがありますので、雪の下に何があるかよくわかるように、竹竿に赤い旗をつけるなど、目印をしてください。

除雪作業で、玄関前など雪の取り残しができ、ご迷惑をおかけすることがありますが、ご協力をお願いします。

また、除雪車の後について歩くのは、非常に危険です。からおやめください。

「いのち」の大切さを学ぶ 「空から見た安心・安全教室」



「いのち」の人文字を参加者全員でつくり「いのち」の大切さを考えました

ゆっ(栗)走って事故は(梨) 秋の全国交通安全運動 R178セーフティ但丹作戦



安全運転を呼びかける「ナシ」と「栗」を受け取るドライバー

秋の全国交通安全運動(九月二十一日〜三十日)の初日にあたる九月二十一日、京丹後市交通安全対策協議会と兵庫県豊岡市の豊岡交通安全協会など、豊岡交通安全協会、京丹後警察署、豊岡警察署、久美浜町商工会などが府県を越え初めて合同で開催しました。「スタート式」には、両市の関係者約百人が参加。中山京丹後市長と奥田豊岡市助役が、隣接する両市が連携し、総合的に取り組んでいくことの重要性を確認するとともに、島本秀喬京丹後警察署長と森下豊豊岡南警察署長が両府県のシンボルマスケット人形を交換し、協力を約束しました。

また、参加者全員が、「ゆっ(栗)走って事故はなし(梨)」の語呂合わせで、久美浜町産のナシと兵庫県産の栗とともに、反射たすぎなどの入った手提げ袋約三百個をドライバーに手渡し、シートベルトの着用や安全運転を呼びかけました。

地域の宝である子どもたちに「いのち」の大切さを学んでもらおうと、「秋の全国交通安全運動」期間を前にした九月十三日に間人小学校(中江香代子校長・百二十八人)で、「空からみた安心・安全教室」を開き、防災・防犯・交通安全意識を高めました。同教室は、子どもたちが巻き込まれる悲しい事件や事故、また交通量の増加にもなう危険箇所の増加など、子どもたちを取り巻く環境が危険にさらされる中、「いのち」の大切さを今一度考えてもらおうと、京丹後警察署、市交通安全対策協議会などが開催しました。

教室には、間人小学校の児童とともに竹野小学校の児童など三十五人も参加。七月の豪雨による間人墓地公園崩落により尊い命を亡くされたお二人に、参加者全員で黙とうを捧げた後、島本秀喬京丹後警察署長は「七月には、大雨により間人地域でお二人のかたが亡くなられました。命はかけがえのないものであり、自分の命だけでなく、ほかの人の命も大切にしてください」と呼びかけました。

その後、あいにくの雨模様となりましたが、同校グラウンドで「いのち」の人文字を参加者全員で描き、互いに大切な「いのち」を守っていくことを固く心に誓いました。



除雪についてのご要望などは、建設部管理課(☎69-0510)または市民局地域事業課へご連絡ください。

**排雪のために
溝ふたなどを
開けたときは**

必ず元に戻してください。

**除雪車の通行を
妨げるもの
(竹や木など)は**

所有者のかたが、速やかに取り除いてください。

**歩道や路肩の除雪に
ご協力をお願いします**

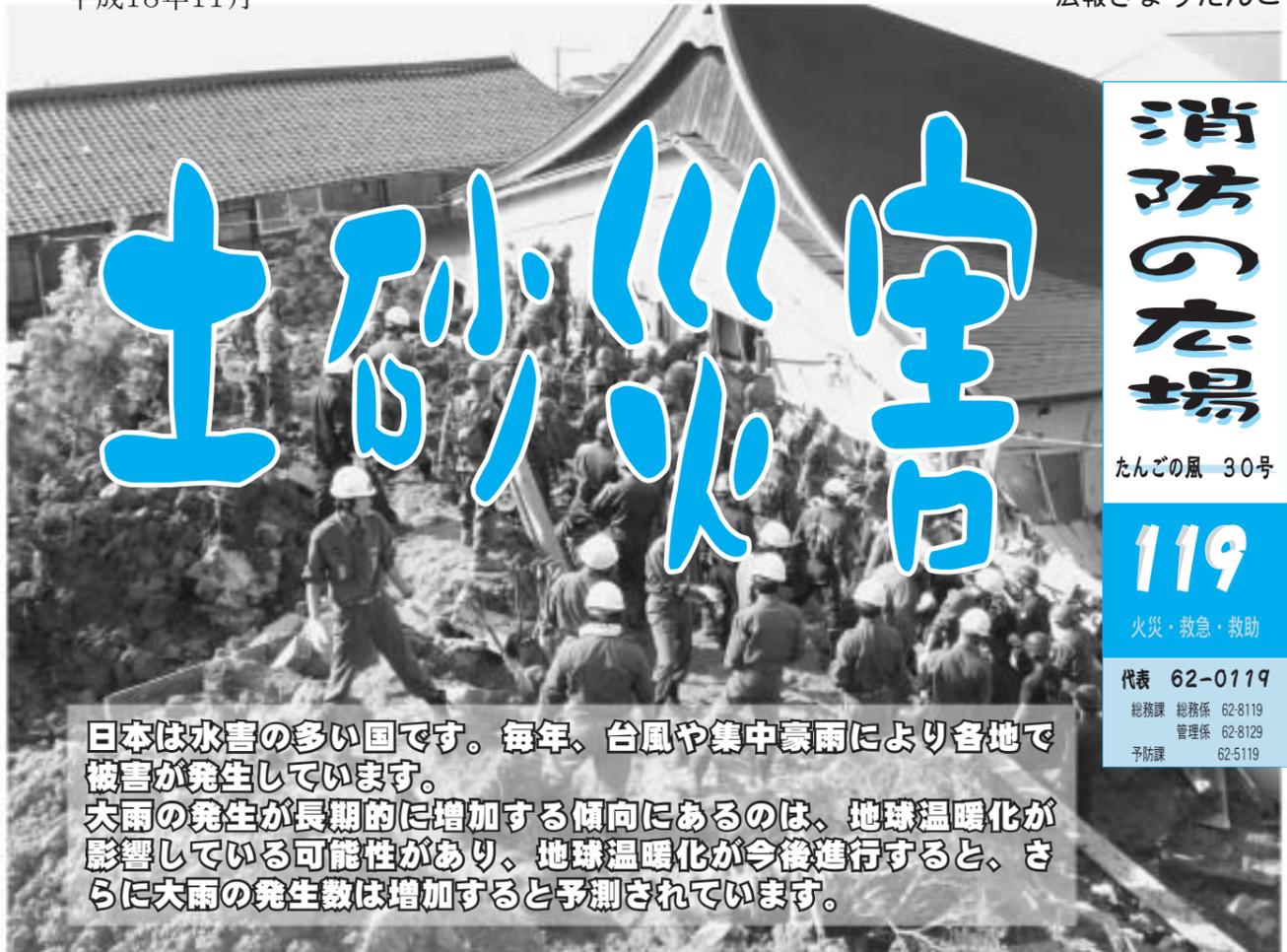
歩道や路肩は、大型除雪車で除雪が困難ですので、各家庭での除雪にご協力をお願いします。

**消雪パイプで散水中は
自動車は
最徐行してください**

しぶきが飛び、歩行者や付近の民家にたいへん迷惑がかかります。ドライバーのみなさん、思いやりを忘れないでください。

安心・安全なまちづくり

安心・安全



消防の志場

たんごの風 30号

119

火災・救急・救助

代表 62-0119

総務課 総務係 62-8119

管理係 62-8129

予防課 62-5119

土砂災害

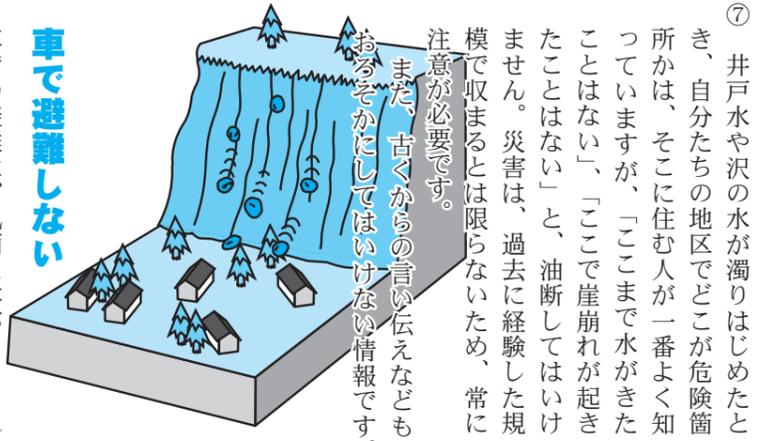
日本は水害の多い国です。毎年、台風や集中豪雨により各地で被害が発生しています。大雨の発生が長期的に増加する傾向にあるのは、地球温暖化が影響している可能性があり、地球温暖化が今後進行すると、さらに大雨の発生数は増加すると予測されています。

気象観測が発達し、精度の高い情報が得られるようになった今日でも大きな被害が絶えません。台風や集中豪雨などによって発生する堤防の決壊や崖崩れ、土石流、また地すべりなどの災害に対してどんな対策を取るのか、自然の猛威から身を守るために、またその被害を最小限に食い止めるためにはどうすればよいかを考えてみましょう。

油断は禁物です

地震などの災害は突然やってきますが、台風や豪雨は天気予報などで事前に災害を予想することができます。天候の悪化とともに普段との様子の違いや前触れ（前兆現象）がみられることがあります。いつも前兆現象があるとは限りませんが、次のような状態がみられるときはすぐに避難しましょう。

- ① 崖から小石がパラパラと落ちてきたとき。
- ② 家、地面、よう壁、斜面にひび割れができたとき。
- ③ 斜面や崖から水が急に噴出したとき。
- ④ 雨が降っているのに川の水が急に減りはじめたとき。
- ⑤ 山全体がうなっているような音（山鳴り）がするとき。
- ⑥ 川の流れが急に濁ったり、流木がたくさん流れてきたとき。



車で避難しない

車での避難は、風雨に体がさらされないから安全と考えますが、車が川に転落したり、水没して脱出できずに亡くなった事例があります。また、タイヤの半分程度浸水すると、ブレーキが利きにくくなります。さらに、ドア上一〇センチから二〇センチまで水がくると、水流がある場所では車が流されてしまい危険です。もしも路面冠水がはじまったら無理せず車を高台に移して水が引くのを待ち、移せない場合には車を歩道側に寄せて駐車し、車から離れて歩いて避難しましょう。

ごしせと違えます

普段見慣れた場所も、増水などで水に浸かってしまうと景色が一変してしまいとても危険になります。杖や長い棒などを利用し足元を確認しましょう。また、避難するとき長靴だと水が入ってしまい脱げたり重くなったりして歩きにくくなります。できれば紐でしっかり結べる運動靴で避難してください。歩ける深さは、腰の辺りまでが限界と言われています。腰まで水に浸かるようなら無理せず高い所で救援を待ちましょう。



助け合うことが大切

先にもありましたが、台風や豪雨は天気予報などで事前に接近を知ることができず、危険な情報があった場合、「危険なところに住んでいる」という認識を持ち、早め早めに避難することが命を守るための基本です。また、高齢者のかたや小さなお子さん、体の不自由なかたなどは、さらに早めの避難が必要です。自分や家族の力では限界があり万全とは言えませんが犠牲者を出さないよう、周囲の人への声かけや、避難の際の介助など隣近所協力しあうことが必要です。

事前に点検してください

台風がまだ遠くにあるときでも突風が吹くことがあります。接近してからの準備は危険です。事前に準備してください。

- 雨どいの詰まりはないか。
- 瓦が割れたり、トタンがめくれかけていないか。
- 塀にヒビが入ったり、崩れかけていないか。
- 樹木の枝が折れかかり電線に触れていないか。
- 植木鉢や物干し竿など、飛ばされそうな物は室内に取り込むかしっかり固定できているか。
- アンテナなどしっかり固定できているか。
- 雨戸を閉め、ない場合は戸や窓の隙間にテープを張るなどの補強、修理ができているか。
- プロパンガスや室外機はしっかり固定できているか。
- 周囲にぐらついた看板や標識がないか。
- 家族で万が一の時の避難場所と避難コースを決めてあるか。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオなどを用意しているか。
- 非常持ち出し袋などを用意し、いつでも避難できるように準備できているか。
- 断水に備えて、飲料水や生活用水を数日分確保できているか。
- 高齢者、乳幼児、障害のあるかたなどをできるだけ安全な部屋に移す準備はできているか。

救急一〇メモ

熱傷(やけど)

冷やすことが基本です

やけどは、みなさんも一度は経験したことのある身近な『ケガ』です。やけどは、炎など高温のものに触れて起こる場合と、カイロなどの低温のものでも長時間触れ続けるとやけどになる場合があります。やけどはⅠ度、Ⅱ度、Ⅲ度と症状を分けます。Ⅰ度は発赤(赤み)・熱感・痛み、Ⅱ度は水泡(水ぶくれ)・痛み、Ⅲ度は壊死(損傷部位の細胞が死んでしまう)・痛み無しです。



救急救命士 藤野 光磯

やけどをしたときは、すぐに水道水を流しっぱなしにして一〇分以上を目安に患部を冷やしましょう。冷やすことで痛みや炎症反応を抑える効果があります。また、水ぶくれを破ってしまうと痛みが強くなったり、細菌が入ってしまう、治るのにも時間がかかりますので破らないようにしましょう。

住宅用火災警報器の詳しい設置方法などは

京丹後市消防本部予防課(☎62-5119)または、最寄りの消防署にお問い合わせください。

京丹後市消防本部ホームページもご覧ください <http://www.city.kyotango.kyoto.jp/kcfd/index.html>

ほうらい 蓬萊の郷・京丹後

京都府内の男性最高齢 109歳

木村次郎右衛門さん（丹後町中野）

村さんは「くよくよせず、忘れることが第一で、感謝する気持ちを持っていて、元気で張りのある元気な声で答えられました。」



木村次郎右衛門さん

京都府内の男性で最高齢の木村次郎右衛門さん（百九歳・丹後町中野）のご長寿を祝い、中山市長と奥田京都府丹後広域振興局長、蒲田市社会福祉協議会理事が十月四日に、木村さん宅を訪問し、お祝いの品を手渡しました。木村さんは、京丹後市内で最高齢であることに男女あわせても府内で三番目。中山市長が「元気の秘訣は」と尋ねると、

市内において、四月一日現在、六十五歳以上のかたは一万七千七百七十二人で、人口に占める割合は二七・四割、四人に一人以上のかたが六十五歳以上ということになります。また、九月十四日現在で百歳以上のかたは、昨年の三十七人から大いに増え四十七人。これは、人口十万人当たりに換算すると七十四・九人となり、全国平均の二十人の実に三・七倍と極めて高く、単に高齢化率が高いという訳でなく、この美しい京丹後の自然や風土、また丹後米をはじめとする海・山・野の新鮮な食べ

物などが「健康長寿のまち・京丹後」を育み、「蓬萊（ほうらい）の郷」(※)とも言えるほど、誇り高く喜ばしいことです。市としては今後とも、市民のみなさん一人ひとりが健康に一層関心をもっていたいただき、いつまでも元気で生きがいや楽しみをもって活躍いただける施策の充実に努めてまいります。

※「蓬萊（ほうらい）の郷」中国で仙人が住み、不老不死の地と信じられた想像上の仙境

「赤い羽根」の由来
「共同募金」のシンボルである「赤い羽根」は、一九四八年ころのアメリカで、水鳥の羽根を赤く染め「共同募金」のシンボルとして使われていたものをヒントに、日本では第二回（昭和二十三年）の運動から、にわたりの



市民のみなさんが一体となって取り組んでいくことを願う「共同募金運動開始式」

市において「共同募金」活動は、合併前と同様に各市民局の主体性のもと、それぞれ独自に行ってきました。しかし、「共同募金」が、本年60年という節目の年を迎えたことを契機として、できるだけ多くのボランティアのみなさんにご協力いただきながら、市が一体となった取り組みを進めていこうと、運動初日にあたる10月1日、市役所前で関係者が一堂に集い「運動開始式」を初めて開催しました。

住民のみなさんへのサービス向上をめざす



市民局窓口業務の充実を図るテレビ電話サービス

市では、わかりやすく、より専門的で迅速な窓口サービスの充実をめざし、テレビ電話を使い本庁の職員が六市民局の窓口に対応する「市民局窓口テレビ電話サービス」を十月二日から始めました。同サービスは、庁舎が離れていることや、職員数が減少することなどによるサービス低下を招くことがないようにはじめたもので、各市民局窓口一台と保健

福祉部に三台の計九台を設置。すべての市民局窓口から福祉事務所（生活福祉課・障害者福祉課・高齢者福祉課・子育て支援課・健康推進課）へパソコンを使ったテレビ電話で結ぶことができます。同サービスは、既存のパソコン上部に取り付けた小型カメラと受話器により、画面を通して福祉関係の本庁職員が対面に対応。市民局窓口に来庁されたかたが提出される書類に、提出先の本庁職員が画面を通して記載もれなどの確認や記載方法の説明を行うとともに、市民局の担当者が不在の場合に本庁担当職員がかわって対応するなど、わかりやすく迅速な対応を行っています。市では今後、利用率や利用形態などから、設置場所や台数の拡大などを検討していきます。

わかりやすく
より専門的で迅速な対応をめざし
市民局窓口でテレビ電話サービスを開始

住民票などの交付サービス

窓口延長 電話予約による時間外交付

ご利用ください

□電話予約により 住民票などの証明書を時間外に交付しています

| | |
|---------|--|
| 交付証明書 | 住民票の一部および全部の写し・印鑑登録証明書 ※本人または同一世帯のかたに限りです。 |
| 電話予約 | 月曜日～金曜日 9:00～17:00（祝日を除きます） |
| 電話予約の方法 | 交付を希望する日に、受け取りたい市民局窓口（下記予約先）へ「必要とする証明書などの内容」および「受取時間」などを電話で予約してください。 |
| 受取時間 | 月曜日～金曜日 17:30～19:00（祝日を除きます） |
| 受取場所 | 各市民局夜間窓口 |
| 受取方法 | ○予約された日に限り、受け取ることができます。 ○予約されたかた以外は、受け取ることができません。 ○予約されたかたが来庁いただき、申請書を記入・提出後に交付します。 ○来庁時に、「印鑑」を必ずご持参ください。 ○「印鑑登録証明書」が必要なかたは、「印鑑登録カード」を必ずご持参ください。 ○本人確認をさせていただきますので、運転免許証やパスポートなど官公署発行の写真付き身分証明書、または保険証などを必ずご持参ください。 |
| 手数料 | 京丹後市事務手数料条例に定める手数料が必要です。 |
| 予約先 | 峰山市民局市民福祉課（☎69-0711）・大宮市民局市民福祉課（☎69-0712） 網野市民局市民福祉課（☎69-0713）・丹後市民局市民福祉課（☎69-0714） 弥栄市民局市民福祉課（☎69-0715）・久美浜市民局市民福祉課（☎69-0716） |

□窓口業務の一部を 毎週木曜日19:00まで延長しています

| | |
|------|---|
| 開設場所 | 峰山庁舎窓口（峰山市民局窓口） |
| 開設曜日 | 毎週木曜日（祝日は除きます） |
| 延長時間 | 19:00まで |
| 取扱業務 | 戸籍謄抄本、除籍謄抄本、戸籍附票、身分証明書、住民票謄抄本、住民票記載事項証明書、外国人登録原票記載事項証明書、印鑑証明書の発行および印鑑登録 |

※上記以外の業務の取り扱いはありませんので、ご了承ください。

ご協力をお願いします

赤い羽根共同募金

現在の少子・高齢社会において、福祉に関する需要はますます増大するとともに、多様化してきています。

そのような中、人間性豊かな福祉社会を実現するためには、公的な施策とあいまって、市民のみなさん一人ひとりの身近な社会連帯に支えられた、活力ある福祉活動が不可欠となっています。

「共同募金」は、募金活動を通じて地域住民の助けあいの精神を普及するため、昭和二十二年から行われている全国的な運動です。

運動は、毎年十月一日から十二月三十一日までの三か月間にわたって全国一斉に行われ、十二月の「歳末助けあい募金」もこの一環として実施しています。



協力を呼びかけられるボランティアのみなさん

「赤い羽根」を使うようになりました。（「赤い羽根募金」は「共同募金」の愛称です）
私たちの「福祉」に役立てられます
「共同募金」は、各都道府県の「共同募金会」が主体となって実施し、集まった寄付金は、各都道府県内で使われる道が決まっています。つまり、みなさんからいただいた寄付金は、地域で活きる「募金」となります。

窓口サービス

このほかにも、高血圧や糖尿病、心臓病などの有病者のかたの抜歯や外傷、歯周病で早期に歯を失った後に用いる人工歯根（デンタルインプラント）の加療、受け口や顔面の変形に対する顎矯正手術、さらに当院全体で力を入れている摂食嚥下（えんげ）障害の高齢のかたのために、最後まで口から食事を取ってもらう取り組み、肺炎予防のための口腔ケアなどに特に力を入れています。これらについては、今後機会があればまたお話ししたいと考えています。口腔外科は、市民のみなさんの口からはじまる健康づくりに、地域密着型で多様なニーズに応えていきたいと考えています。

21世紀の本格的な高齢化社会をだれもが健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするために、「健康増進法」が制定され、全国の自治体においては健康づくりのための「地方計画」をつくることとなりました。

京丹後市においても、住民のみなさん一人ひとりが幸せな人生を実感できる健康づくりを実現していただくために、各種健康づくり事業の充実や環境整備などを盛り込んだ「健康増進計画」を策定することとしており、その一環として、昨年12月に健康に関するアンケート調査を実施しました。

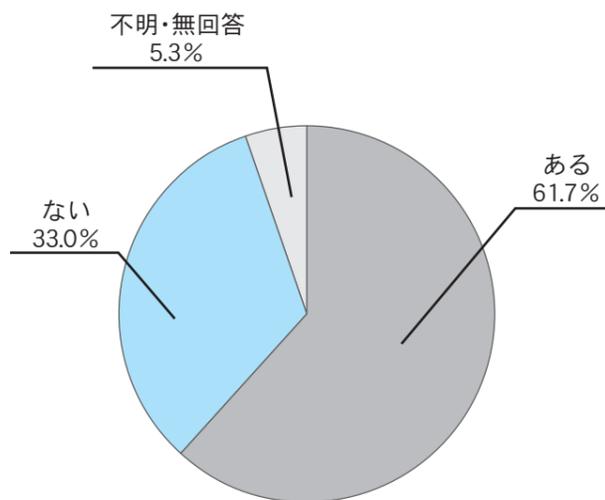
今回は「ストレス」についての設問の中から概要をご紹介します。

健康増進計画アンケート調査 結果の概要 ③

- 対象者および抽出方法
市内に在住の成人男女 3,000人（無作為抽出）
- 調査期間 平成17年12月1日～12月15日
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 回収結果 1,738人／3,000人
- 回収率 57.9%

Q あなたは現在、ストレス（不満、悩み、苦勞）がありますか

現在、「ストレス（不満、悩み、苦勞）がありますか」という問いに、「ある」が61.7%と、「ない」の33.0%より高くなっています。



この問いを男性の年代別でみると、「ある」という回答は30歳代、40歳代でそれぞれ74.3%、72.0%と高くなっています。一方、「ない」という回答は60歳代で47.3%と高くなっています。

また、女性の年代別でみると、「ある」という回答は年代があがるにつれて低くなりますが、20歳代、30歳代、40歳代でそれぞれ7割以上と高くなっています。一方、「ない」という回答は70歳以上で44.9%と高くなっています。

職業別でみると、「ある」という回答はどの職業においても4割以上となっており、特に会社員、公務員、パート・アルバイトでそれぞれ69.0%、78.8%、68.3%となっています。

あなたの健康
応援します



口腔外科疾患について

口腔外科と言っても、市民のみなさんにはあまりなじみが無く、いったいどんな病気を扱う診療科なのか、あるいはどんなときに受診したらよいのか、わからないかたも多いかと思えます。そこで、今回は、当科で扱う主な疾患についてお話したいと思います。

親知らず（智歯）の抜歯手術

一般に親知らずは、一番奥に生えています。近年あまり硬いものを食べないという



久美浜病院歯科口腔外科部長
堀 信介 医師

京都大学医学部非常勤講師
日本口腔外科学会認定口腔外科専門医
日歯認定産業医
歯科医師臨床研修指導医
薬剤師

専門分野：口腔粘膜疾患、顎関節症、口腔腫瘍

生活習慣もあり、日本人の顎（あご）は小さくなり、親知らずの生える場所が狭いために、顎の骨の中に横向きに埋まつたり、斜めに生えて歯の一部分だけ見えている例も多く、歯磨きが行き届かず不潔になりやすいので炎症を繰り返し、痛みや腫れることがあります。

親知らずは、歯列不正や口臭の原因となり、放置しておくと全身にさまざまな病気を引き起こすこともあり、早期に抜歯することをお勧めします。抜歯の方法は、局所麻酔と全身麻酔がありますが、近年、無痛で治療期間を短縮するために、週末短期入院下全身麻酔を選択する患者さんも増えており、当科でも実施しています。安全で、痛くない抜歯手術を心がけていますので、ぜひ専門医にご相談ください。

顎関節の病気

みなさんは、あくびをしたときや食物をかんだとき、顎の関節に痛みが出現したり、音が鳴ったり、あるいは口が開きにくいことはありませんか？これらの症状が出現したら、顎関節症になっている可能性があります。近年マスコミなどで多く紹介されていますが、先進国の若い女性に多い現代病で、原因はわかっていませんが、かみ合わせの不調、歯軋（ぎし）り、あるいはストレスなどと推測されています。また、患者層の低年齢化が指摘され、学校歯科検診にも取り入れられています。症状が進行すると、肩こり、頭痛、耳痛など、全身に症状が及ぶことがあり要注意です。治療方法は、顎を安静にするためにマウスピースを装着したり、咀嚼筋（そしゃくきん）の緊張を和らげるマッサージなどの保存的治療により約七割のかたは治療（ちゆ）しますが、痛みや開口障害の悪化した場合、顎関節腔注射や内視鏡による手術なども行います。また、高齢化社会を迎え、長期の咀嚼（食物をかむこと）により、顎が頻りに外れる病気があります。

これは、習慣性顎関節脱臼という病気で、高齢者のかたに多く、繰り返すうちに徒手（しゅ・素手）ではなかなか顎が元に戻らなくなり、苦痛を伴います。これに対しては、手術療法が有効で好成績を挙げています。また、手術以外にも、自分の血液を顎関節に注入する方法が有効とされており、手術が不能な高齢のかたに注目されています。

口腔粘膜や舌の病気

最近外来で、舌や口唇などが、ひりひり、ぴりぴりやけどした後の痛みや、灼熱感を訴える中高年以上の女性の患者さんが増えています。この病気は舌痛症（ぜつづうしよう）【口腔灼熱感（こうくうしゃくねつかん）症候群】と言います。しばしば病期が長期化することもあり、早めの受診をお勧めします。また、口が渇いて、唾液が出ない病気もあります。これをドライマウス（口腔乾燥症）と言い、原因はさまざまで、糖尿病や膠原（こうげん）病の初発症に伴う唾液腺萎縮（しよく）などがあり、それぞれに的確に対応する必要があります。女性の過剰なダイエットや精神的ショックなどにより味がわからなくな

秋の丹後路を快走 あみの八丁浜ロードレース大会



絶好のコンディションの中、選手たちはすがすがしい浜風を受けながら力走し、沿道からは大きな声援が贈られました。

すがすがしい秋風吹く十月十五日、恒例の「あみの八丁浜ロードレース大会」(同実行委員会主催)が、網野北小学校(網野町浅茂川)をスタート・ゴール地点として開かれ、秋の丹後路で自慢の健脚を競いました。
同大会は、網野町の浅茂川出身で、第一回アジア大会(昭和二十六年)の一万円競技で優勝された田茂井宗一さんと、アトラクタオリンピック(平成八年)の五千円競技で当時の日本新記録で四位に入賞された志水見千子さんの偉大な功績を讃え開催しているもので、今年で九回目を迎えました。
今大会には、三ヶメートル・五ヶメートル・一〇ヶメートル・ハーフマラソンの各コースで性別、年齢別にわかれた二十五部門に、市内をはじめ、埼玉県や京阪神などから五百十四人が参加。
今大会には、ゲストラランナーとして田茂井宗一さんが一〇ヶメートルの部に参加されるなど、

グラウンドいっぱい笑顔 なでしこTANGOサッカースクール 開講



すぐに仲良くなり、笑顔いっぱいに楽しんでいました

サッカーの普及をめざし、宮津市以北の二市二町の小学校一年生から六年生までの女の子を対象とした「なでしこTANGOサッカースクール」が、このたび開講しました。
同スクールは、京都サッカースポーツ少年団連盟丹後支部(辻村寛支部長)が主催。丹後地方には、女の子だけを対象としたスポーツ教室が少なく、サッカーについても、各市町の少年サッカークラブで男の子とともにプレーしていますが、今回、丹後地方で初めてとなる女子チームとして誕生しました。
九月三十日に弥栄総合運動公園(弥栄町鳥取)で開かれた開講式には、各市町の少年サッカークラブに所属している選手や、今回新たにサッカーをはじめ小学生約二十人が参加。自己紹介の後、しっぽとりゲームやボールをバトンがわりにしたリレーなど、まずは仲良く楽しむことからスタートし、初めて会ったにもかかわらずメンバーはすぐに打ち解け、笑顔一杯に楽しんでいました。
コーチの一人、服部智昭さん(峰山町新町)は「サッカーを楽しむことを第一に、サッカー

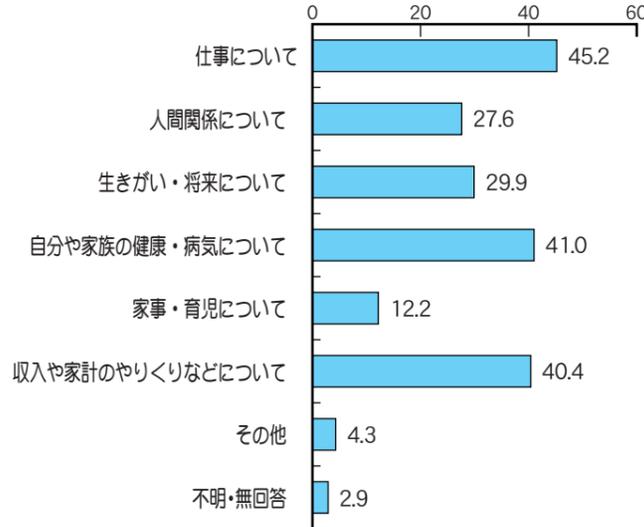
サッカーの普及をめざし 保育所でサッカー教室



サッカーの普及とともに、スポーツのおもしろさを知ってもらう「巡回サッカー教室」(財団法人日本サッカー協会主催)が、十月十三日に、島津保育所(野木知春所長)で開かれ、五歳児二十二人が澄み切った青空の下、歓声を上げながら楽しみました。
同教室には、コーチ役として網野サッカークラブのメンバー六人が参加。サッカーボールを使つての鬼ごっこなど楽しみながらボールに慣れることからはじめ、最後にはミニゲームを行うなど、コーチからの「うまい」、「その調子」というアドバイスに自信を持った子どもたちは、グラウンド狭しと夢中でボールを追いかけました。

Q ストレスがあると答えたかたにお尋ねします。どのようなストレスを感じますか (複数回答)

「どのようなストレスを感じますか」という問いに、「仕事について」が45.2%と最も高く、次いで「自分や家族の健康・病気について」が41.0%、「収入や家計のやりくりなどについて」が40.4%となっています。



この問いを男性の年代別で見ますと、「仕事について」という回答は20歳代から50歳代の年代においてそれぞれ5割以上と高くなっています。また、「自分や家族の健康・病気について」という回答は60歳代、70歳以上でそれぞれ49.4%、51.9%と高くなっています。
女性の年代別では、「仕事について」という回答は20歳代から50歳代の年代においてそれぞれ4割以上と高くなっており、「自分や家族の健康・病気について」という回答は50歳代から70歳以上の年代においてそれぞれ4割以上と高くなっています。

ストレスを感じたかたの割合をみると、全国の実績値(平成15年国民健康・栄養調査)の62.2%に対し、京丹後市では61.7%とほぼ同水準となっています。ストレスの有無を性別および年代別にみると、男性、女性ともに20歳代、30歳代、40歳代、50歳代で6割を超えています。これらの各年代におけるストレスの要因は、「仕事について」が最も高く、また、60歳代、70歳以上では「自分や家族の健康・病気について」と、年代によりストレスの要因が異なっています。

※このアンケート調査のすべての設問については、京丹後市のホームページの「健康ステーション」に「京丹後市健康増進計画アンケート調査の結果概要」として掲載していますので、ご覧ください。



アルミ缶・ダンボールを回収し 車椅子を寄贈

西谷 安柄さん(峰山町千歳)



「みなさんの温かさに触れ、うれしい気分になります」と笑顔で話していた 西谷安柄さん

峰山町千歳の西谷安柄さんは、永年にわたって個人のお宅や事業所を一軒ずつ自転車でまわり、リサイクル資源であるアルミ缶とダンボールを回収され、それを専門業者に引き取ってもらった代金を貯めて、車椅子を施設などに寄贈されています。
西谷さんは、理髪店を営んでおられ、以前から福祉施設などへの訪問散髪ボランティアを行ってこられました。そのような中、知人の活動に刺激を受け、平成二年からアルミ缶などの回収をはじめられ、どんな天候であろうとほぼ毎日続けてこられ、これまでに丹後中央病院や社会福祉協議会などに九台の車椅子を寄贈されています。
西谷さんは「家族や地域のみなさんに助けをいただきた続きでこれでした。一人暮らしのかたなどから『西谷さんに会うのが楽しみ』と声を掛けていただき、また若い方からも『ご苦労さま』『気をつけてください』と言っていたら、『ありがたさ』を実感しています」と、地域のみなさんの温かさに感謝されていました。
また、今後について「四度も手術を受ける闘病生活を経験していますので、動くことを止めると自分がだめになると思います、元気な間は続けていきたい。みなさんにお会いし、お話しをすることが何より楽しみです」と笑顔で話されていました。

京丹後市の未来を担う

市では、職員研修の一環として、内閣官房および内閣府、総務省、経済産業省、資源エネルギー庁、京都府、財団法人自治体国際化協会、財団法人京都産業21へ各一人を派遣しています。

そこで、今回は中央省庁などでの研修状況や業務内容、これまでの感想などについてご紹介します。

産業の活性化にも貢献するなど、さまざまな意義があり、我が国においても、新エネルギー対策の機運が次第に高まっており、自治体や企業などの取り組みが広まってきています。

京丹後市においても、平成十七年十二月に策定した「京丹後市総合計画」の中で、新しいエネルギーの導入と活用について明記しており、新エネルギー供給の実証研究の実施や小型風力発電機を設置するなど、環境をキーワードにした「まちづくり」を進めています。

バイオ燃料の普及に向けた検討

我が国においては、平成十七年四月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」の中で、平成二十二年までに五〇万リットル（原油換算）のバイオ燃料を導入する目標が設定されています。

バイオエタノールを混合したガソリンの導入に当たっては、エタノール供給量の確保および供給・流通設備のエタノール混合ガソリン対応が必要であり、エタノール供給量を確保するためには、国産エタノールの生産体制の整備と輸入エタノールの安定確保の双方が求められます。

私の仕事

バイオマスエネルギーの普及に向けた取り組み

新エネルギーの中でもバイオマスを利用して得られるエネルギーを普及、促進させるための施策を企画・立案し、実行することが私の業務です。

具体的には、建築廃材などの木質系セルロースや家畜ふん尿、食品残さといった、再生可能なバイオマスを電力などのエネルギーに効率よく転換するための技術開発事業の

知的体力を身につける



生活環境部環境推進課 主事 松田 吉正
 研修先：資源エネルギー庁省エネルギー部新エネルギー対策課
 研修期間：平成18年4月から2年間

研修先の状況

①

国民に信頼されるエネルギー安全保障の確立、②エネルギー問題と環境問題の一体的解決による持続可能な成長基盤の確立、③アジア・世界のエネルギー問題克服への積極的貢献の三つの実現をめざし、それぞれのセクション（部課）において取り組みを進めています。

私の所属課では、太陽光発電や風力発電、廃棄物熱利用などの「新エネルギー」の普及・促進に向けた施策を講じ、さまざまな事業に取り組んでいます。新エネルギーは、二酸化炭素の排出が少ないことなど、環境へ与える負荷が小さく、石油依存度を低下させる代替エネルギーとして、地球環境、エネルギーの安定供給に資するものです。この新エネルギーの普及は、地球環境の保全など持続可能な社会の構築に寄与するとともに、

京丹後市においても、平成十七年十二月に策定した「京丹後市総合計画」の中で、新しいエネルギーの導入と活用について明記しており、新エネルギー供給の実証研究の実施や小型風力発電機を設置するなど、環境をキーワードにした「まちづくり」を進めています。

我が国においては、平成十七年四月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」の中で、平成二十二年までに五〇万リットル（原油換算）のバイオ燃料を導入する目標が設定されています。

バイオエタノールを混合したガソリンの導入に当たっては、エタノール供給量の確保および供給・流通設備のエタノール混合ガソリン対応が必要であり、エタノール供給量を確保するためには、国産エタノールの生産体制の整備と輸入エタノールの安定確保の双方が求められます。

国産エタノールについては、糖蜜やセルロース系バイオマスからの高効率なエタノール生産技術が確立しつつあり、商用生産が可能な段階に近づ

秋の二倍以上となり、ここ十年間で最高水準に達しています。

国産バイオエタノールについても原料となるサトウキビの糖分やトウモロコシなどのデンプン、建築廃材など木材のセルロースなど、いずれの原料からガソリンより優位なコストで生産できる目途は立っていません。

エタノールの卸売価格が低く抑えられ、通常のガソリンよりも少しでも安い小売価格にならない限り、バイオエタノールの普及拡大は困難と考えられます。円滑に普及拡大を図るにはエタノール混合ガソリンの競争力を向上させることが必要であり、通常のガソリンと同等以上の経済性を確保する必要があります。

今後の取り組みについて

このように検討をする中で、まず、エネルギー自給率向上の観点から、国産のバイオマス由来燃料の導入を基本とすべきであると考えています。現時点では、国産のバイオ燃料の供給量は少なく、価格も高いが、中長期的な視野に立ち、供給量の拡大と価格の低減のための技術開発に努めていかなければなりません。

次に、できるだけ食糧と燃料との競合が少ない原料を利

用することも必要です。例えば、サトウキビからの砂糖生産の副産物である糖蜜、規格外の小麦や廃木材等が考えられます。バイオ燃料と食糧との競合による食糧不足の深刻化、資源作物増産による水不足や環境破壊についても考慮が必要です。

また、ブラジルなどの海外からのバイオマス燃料の輸入の可能性についても検討する必要がありますが、食糧自給率の低い我が国が、輸入を前提に大量のバイオ燃料を導入することは、我が国のみならず、世界のエネルギー問題や環境問題を悪化させてしまうことが考えられます。バイオ燃料を輸入する場合は、国際的なバイオ燃料の需給動向、食糧需給動向、輸出国の環境への影響などを十分に考慮し、つつ、計画的に導入を進めるべきであると考えています。

マラソンに例えるとあつという間に折り返し地点に到達してしまつたような感覚で、現在は残りの復路を精一杯走りきるつもりで毎日を過ごしています。

私の派遣先は、「内閣官房構造改革特区推進室・地域再生推進室」という部署で、約七十人の職員中、国の各道府県からの出向者が約五十人、私のような市町村や都道府県からの派遣職員が約十五人、民間企業からの派遣職員が約五人と、約三割を国以外の職員が占めている点で、ほかの部署とは職場の環境や雰囲気がいなっています。

この部署の主な仕事は、①「特区・地域再生の提案募集」と②「特区・地域再生計画の認定」に係る業務です。

国の財政措置に頼らない 地域活性化のツールとして 『特区』の活用を



企画政策部総合戦略課 主事 永島 一陽
 研修先：内閣官房 構造改革特区推進室・地域再生推進室および内閣府 構造改革特区担当室・地域再生事業推進室
 研修期間：平成17年10月から2年間

昨年十月に職員研修として国の機関に派遣され、早や一年が経ちました。私としては、

①特区の提案を例にとると、地方公共団体の事業や民間事業者の経済活動を妨げているなど、実態に合わなくなった国の規制が存在する場合に、その規制の緩和などを特区推進室に提案するというものです。提案については、地方公共団体や民間事業者、NPO団体などに限らず個人のかたも行うことができます。提案を受けた特区推進室は、規制所管省庁と「要望を実現するための方策」について協議し、提案者が希望する事業活動な

どが行えるように規制改革を進めていきます。

提案が認められた場合、特区計画の認定申請に際して利用できるメニューが整理されま

②前記①の提案に基づき地方公共団体は、認められたメニュー（特区の場合は規制の特例措置、地域再生の場合は支援措置）を活用した計画を作成し、特区推進室へ認定申請するようになります。認定申請があつた場合、特区推進室が認定基準に適合しているかどうかを審査し、規制所管省庁の同意を得た上で、内閣総理大臣の認定を受けることになりま

京丹後市が認定を受けたものは、次のとおりです。

○NPOなどによるボランティア輸送において、セダン型などの一般車両の使用を認める特例を活用した「京丹後市福祉有償運送特区」

○地域再生のための汚水処理施設整備交付金を活用した「京丹後市『豊かな自然環境のまち』再生計画」

○地域再生計画の認定に基づく支援措置「地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）」を活用した「人材育成及び新規事業開拓研修を通じた地域産業の再生と雇用機会の創出（京丹後市

あなたが選ぶ

「2006年京丹後市10大ニュース」を募集

今年も残りわずかとなりました。市民のみなさんにとって2006年はどんな年だったでしょうか。

みなさん一人ひとりが今年一年を振り返っていただくきっかけとともに、京丹後市政に対して理解と関心を高めていただくことを願い、「2006年京丹後市10大ニュース」を次のとおり募集します。多くのご応募お待ちしております。

■対象者 市内在住のかたならどなたでも結構です。ただし、応募は1人1通とします。

■募集期限 11月30日(木)

■応募方法

◇応募用紙(市民局にあります)により、市民局へご応募ください。

◇「2006年京丹後市10大ニュース」の候補は次のとおりで、一人3つの番号を選んでください。なお、10大ニュースにしたい内容が候補にない場合は、各自でご記入ください。

◇電子メールでもご応募いただけます。(住所、氏名、電話番号、候補番号(3つ)・候補にない場合はその内容をご連絡ください)

■決定 得票数の多いものから順に「2006年京丹後市10大ニュース」を決定します。

なお、応募された3つすべてが、10大ニュースに選ばれた上位3位と合われたかたの中から、抽選で10人のかたに図書券(1,000円分)を贈呈します。(当選者の発表は、年内の発送をもってかえさせていただきます)

■発表 10大ニュースの発表は、本紙および市のホームページに掲載します。

■お問い合わせ先

京丹後市役所 秘書広報広聴課

(☎69-0110)

E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp

2006年京丹後市10大ニュース 候補

- 1 新・丹後王国の創造をめざす「京丹後市総合計画」を策定
- 2 心身ともに健全な子どもを育てため、小・中学校、幼稚園、保育所の敷地内を全面禁煙へ
- 3 市役所の組織・機構を再編
- 4 関西電力株式会社へ発電所設置のための事前調査の撤回を申し入れ、蒲井・旭地域振興計画(案)を策定、関西電力株式会社久美浜原子力発電所立地計画の中止を回答
- 5 京都ファイアーバースと「連携・協力に関する包括協力協定」を締結
- 6 弁護士常駐の「京丹後ひまわり基金法律事務所」が開所
- 7 愛情の絆で走る「子ども安心パトロール車(にこにこカー)」発進
- 8 市内4郵便局で住民票の写しなどの交付サービスを開始
- 9 「行財政改革推進計画」の具体化に向け、市民と行政の協働推進指針・アウトソーシング推進計画・職員人材育成基本方針・給与制度等改革方針を策定
- 10 民間の知識・経験を活かすまちづくりに高見慧さんを招へい・採用
- 11 男女共同参画社会の実現に向け「京丹後市男女共同参画計画」を策定
- 12 健康・福祉のまちづくりに向け「第3期京丹後市高齢者保健福祉計画」を策定
- 13 弁天大橋(網野町浅茂川)が完成
- 14 丹後あじわいの郷が出会いと結婚の象徴「恋人の聖地」へ指定
- 15 救急用ヘリコプター臨時着発場を初めて確保
- 16 第2次京丹後市議会が発足
- 17 茶の一大産地をめざし、茶の京丹後塾が初茶摘み
- 18 「青少年中国交流団」を初めて派遣
- 19 丹後のすぐれた地場産品を一堂に「第1回Tango Good Goodsと京の丹後屋見本市 in 京丹後」を初開催
- 20 民間の経営ノウハウの活用に、43施設で「指定管理者制度」を導入
- 21 安心・安全なまちづくりに向け「京丹後市地域防災計画」を策定
- 22 平成19年4月1日の合併をめざし「京丹後市六町商工会合併協議会」が発足
- 23 アベサンショウウオの生息地(大宮町善王寺・峰山町長岡地区)が環境省の「生息地保護区」に指定
- 24 弥栄病院・産科外来を再開
- 25 「平成18年7月豪雨」により間人地域で甚大な被害
- 26 府道網野岩滝線「等楽寺バイパス」完成
- 27 市民のみなさんが主役のまちづくりに向け「京丹後市まちづくり基本条例の制定をすすめる会」が発足
- 28 京都ファイアーバース対茨城ゴールデンゴールズの交流試合を開催
- 29 久美浜高等学校の野球部員4人が甲子園で始球式
- 30 京都工芸繊維大学の京丹後市内での研究活動拠点「京丹後キャンパス」オープン
- 31 低額・便利な公共交通網をめざし、低額(上限200円)運賃バスの実証運行を開始
- 32 Tango Silkの高付加価値化・ブランド化をめざし「丹後ファッションウィーク」を初開催
- 33 中国・安徽省亳州市と友好都市提携
- 34 市が出資する人材派遣会社「京丹後市総合サービス(仮称)」設立へ

コミュニケーションは国際化を推進する



企画政策部企画推進課 主事 田中 涼子
 研修先：財団法人自治体国際化協会
 研修期間：平成18年4月から1年間
 (平成19年4月から2年間 韓国ソウル)

研修先の状況

財団法人自治体国際化協会 は、地域の国際化を推進するため、地方公共団体の協同組織として昭和六十三年七月に設立され、東京の本部事務所のほかにニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、

ソウル、シドニーおよび北京の七都市に海外事務所を設置しています。同協会の主な業務は、地方公共団体関係者が海外で行う調査・視察などの支援、諸外国の地方行政などに関する研究調査、また地方公共団体を主体とした人的交流、姉妹都市提携などの国際交流・協力事業の推進などです。職場は、総勢八十人ほどで、数人の正職員を除いて、すべて国の各省庁、地方自治体、一般企業からの派遣者で、一年ごとにはほとんどの職員が入れ替わるといふちよつと特殊なところですが、また、外国人スタッフも十人います。みなさんは「JETプログラム」という言葉をご存知ですか? 「JETプログラム」とは、「語学指導などを行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称で自治体国際化協会の中心事業のひとつです。私はこの業務部に配属されています。

これは、総務省、外務省、文部科学省と当協会が連携して行っているもので、地方公共団体が事業主体となり、外国青年を日本に招致し、彼らを通じて外国語教育を充実させるるとともに、日本の津々浦々に

外国人青年が溶け込むことにより、地域レベルでの国際化を促進しようとするものです。「JETプログラム」という言葉に聞き覚えはなくても、中学校や高等学校、あるいは町の英会話教室やイベントなどで、外国青年が活躍していることは、多くのかたがご存じだと思います。現在、全国の都道府県・市町村など一、一六三の団体に四十四か国から約五、五〇〇人の「JETプログラム」の参加者が配置されています。(京丹後市では六人を配置) 参加者の職種は、外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員があり、在外公館で選考を受けて日本にやってきました。業務部では、参加者の地方公共団体などへのあっせん・配置、オリエンテーションなどの各種研修の企画・実施、日本語研修などを行っています。また、外国人スタッフは「JETプログラム」経験者で、参加者からの相談やカウンセリングなども担当しています。

これは、総務省、外務省、文部科学省と当協会が連携して行っているもので、地方公共団体が事業主体となり、外国青年を日本に招致し、彼らを通じて外国語教育を充実させるるとともに、日本の津々浦々に

た体談や感想を読む中で、「交流」において大切なことは、コミュニケーションを取りたいと思う気持ちと、取ろうとする勇気だと教わりました。私自身、人と交わることが得意なわけでもなく、英語が話せるわけでもありません。こちらに来て、初めて外国人スタッフと一緒に仕事をするときは、とまどいもありました。しかし、一か月、二か月ともにも働いているうちに、彼らが外国人にみえなくなってきた。もちろん外国人スタッフも、日本語がたんに聞いただけというところもありますが、やはり自分の中でみえ方がかわったような気がしました。これは不思議な体験でした。小さなことかもしれませんが、一人でも多くのかたが同じような体験をすることによって、「国際化」や「国際交流」がさらに進むような気がします。早くも半年が過ぎましたが、残された期間、国際化に関することに限らず、与えられた機会を活かしてさまざまなことを経験したいと思えます。そして、京丹後市でできる国際化について考えていきたいと思えます。

これまでの感想

これまで特区推進室の業務において、全国各地の地方公共団体の職員、民間事業者および個人のかたと接してきました。それぞれの地域が、自分たちの地域を活性化させるために知恵を絞り、工夫を凝らしたアイデアを特区推進室に提案してきます。私としては、提案者の熱意を感じ取り、彼らとともに、あらゆる角度から規制緩和などの必要性を理論付け、関係省庁に規制改革を訴えていきます。そして、このような仕事を通して、地域の活性化のお役に立てることに対し、とてもやりがいを感じています。

京丹後市としても、「特区」と「地域再生」を車の両輪のように活用することで、地域の活性化を推進しています。

して国の財政措置に頼らない地域活性化策を考案するなど、京丹後市の発展に貢献していきたいと思っています。

あなたの声を市政に 「意見箱」

紙面の都合によりご意見を一部割愛させていただきます。

Q 助産師による子育て相談など 助産師外来の充実を

先日、乳腺炎にかかり、助産師のかたにマッサージをしていただきました。熱も高く、お乳を触るのも、しこりが痛くてどうしようもなかったのですが、とてもいいねいにていただきました、すごく楽になりました。

お乳だけでなく、足のつば療法とか、リンパマッサージとか、頭、肩、背中など全身をみていただいたうえに、食生活のこととか、体の冷えのことまで指導していただいて、とても参考になりました。ゆくゆくは、断乳の相談やケアもしていただけたら聞いて、すごく安心です。

今、母乳で子育てをがんばっている人たちに、もっと知ってもらえれば、お乳をみてほしい人や、相談したい人も来ると思います。困ったときは、助産師のかたに支えてもらいながら、育児もがんばれると思うのですが。

【無記名】

A 患者さん本位の医療をめざし、 研さんを積んでまいります

産科外来における助産師の対応に、

ご評価をいただき、誠にありがとうございます。当院におきましては、産婦人科医師の体制が不十分となったことにより、本年四月から、お産を扱えない状況が続いてきましたが、京都府医師バンクを通じて、京都府立医科大学や京都府第一、第二赤十字病院の医師のみならずの協力をいただき、十月から、産科外来を再開するようになりました。

このような状況の中で、当院の助産師は、お産の再開に向け、日々研修を積みながら、助産師外来の充実にも努めてまいりました。このような取り組みから、今回、高い評価をいただけたものと関係者一同、たいへん喜んでいくところでございます。

今後におきましても、患者のみならず喜んでいただける医療の提供をめざして、日々研さんを積んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、助産師からは、「開業助産院の研修から、乳房マッサージだけでなく、足つば、肩・背中をほぐす方法や冷え性予防のための生活指導を学んできました。授乳、子育てで悩んでおられる

A 原則、指定管理者への指定管理料の変更はしておりません
指定管理料は、毎年度、市の予算の範囲内で指定管理者に支払うこととし、その金額は、指定管理者から提案された事業計画書・収支計算書をもとに、指定管理者と市が協議を行ったうえで、年度ごとに定めることにしています。

この指定管理料の額は、災害などの当初、想定されなかった特別な事情が発生した場合を除き、原則として変更しないことにしています。

従いまして、指定管理者の経営状況によって、その赤字部分をその都度、補てんするという性質のものではありません。

また、指定管理者が、当該施設の管理業務以外の事業を行っている場合は、施設の管理業務と、ほかの事業の経理を明確に区分することとし、施設管理業務の収支について、適切に管理するように指示をしています。

【企画推進課】

Q 救急救命士のさらなる養成を 検討してください

京丹後市消防本部のみなさん、毎日とっていいほど、救急車のサイレンが聞こえます。暑い中、本当にご苦労さまです。

広報きょうたんご七月号のご意見箱のページに掲載のありました「認定救急救命士一人誕生」を読み、たいへん

Q ホームページに掲載する 災害情報をもっと目立たせて

京丹後市のホームページですが、七月の災害について、情報を得ようとしたが、ホームページの左側の項目をクリックしないと、その情報が見れない状態でした。

緊急情報は、ホームページの真ん中に置いてほしいと思いました。

【無記名】

A 災害情報のよりわかりやすい 掲載に努めてまいります

ホームページを活用した災害時における情報提供につきましては、正確な情報を少しでも早く、目立つかたちで、すべての市民のみなさんへ発信できるように、九月二日に大雨災害を想定して行いました避難訓練以降、ホームページ中央の一番上に掲載することになっています。

災害時における早く、正確な情報提供は、市民のみなさんの生命・財産を守るうえで、たいへん重要なことであり、詳細な情報をわかりやすく掲載するなど、安心・安全を第一に考えたホームページとして、市民のみなさんに情報をお伝えしていきたいと思いま

【無記名】

心強く思いました。しかし、今後も一年に一人程度、育てていくというところで不安になりました。五台の救急自動車に十二人の救急救命士。それでは、救命士の乗車してない救急自動車も走っているのでしょうか。京丹後市は、今後ますます高齢化が進み、出動回数も増えると思います。予算もたいへんでしょうが、認定救急救命士・救急救命士を、一年に一人とは言わずに、二人、三人と、増やす方向の検討をお願いします。

【無記名】

A 救命士の計画的な養成を 工夫し、行ってまいります

消防本部では、救急自動車を本署に二台、分署所に各一台の計五台と、救急救命士十二人を配置して、平成十七年中には二千三百七十五件の出動をしています。

ご意見をいただいたことについてですが、当本部では、平成十八年三月に、気管内チューブによる気道確保と薬剤投与の両方ができる認定救急救命士が一人誕生しました。

気管内チューブによる気道確保は、ほかの気道確保に比べ、確実に人工呼吸ができ、また薬剤投与では心停止傷病者の心機能回復が期待されます。

★★投稿に際してのおねがい★★

ご意見箱へのご意見には、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただいています。一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えしています。ホームページには随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確でいいねいな回答をお返しするように努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返すために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。

【消防本部】

市立図書館 ご案内

あみの図書館 中学生の職場体験

8月4日の網野中学校2年生の9人に続いて、9月22日に弥栄中学校の2年生6人が、あみの図書館の業務のうち、本の貸出、返却や配架（返却された本を書架に戻す作業）をはじめ、事務室での業務などを体験しました。

生徒のみなさんは、初めての経験で緊張しながらも、一生懸命、図書館職員の指示を聞き、取り組みました。そのほかの各図書館（室）でも体験学習が行われています。



あみの図書館 科学あそび教室

あみの図書館では、10月1日に、今年度2回目の「科学あそび教室」を開催しました。参加希望が多く、やむなく申し込み制限を行い、約100人の親子が、ホログラムシート（分光シートとも言います）を使った「光の万華鏡」と「キラキラこま」づくりを楽しみました。

光や虹について説明を聞き、色の名前を英語で発声したり、「ハロー」・「虹」の歌を楽しく歌った後、製作に取りかかりました。参加者は、会場の照明や太陽



光線が、いろいろな色にわかれきれいな模様に見える光の世界を楽しみました。

保育所・小学校に団体貸し出し

市立図書館（室）では、子どもたちが学校図書館の本以外にも、多くのよい本に出会えることを願い、保育所や小学校向けに団体貸し出しを行っています。

教員のかたが、図書館で直接本を選んで借りる方法のほかに、図書館で小学校の希望する冊数を予め準備して貸し出す方法。加えて、公民館やデイサービスセンターにも団体貸し出しを行っています。京丹後市域は広大であるため、なかなか自分で図書館に来て本を借りていただくことができないので、図書館ではさまざまな方法により、みなさんが本に接していただく機会をつくりたいと考えています。

利用者の声

丹後図書室「えほんのへや」（水曜日 10:30～）

丹後図書室で読み聞かせを行っているのは以前から知っていましたが、友達に誘われたのをよいチャンスだと思い初めて参加しました。

手あそびで子どもたちに興味を持たせた後に、読み聞かせに入っていきますが、うちの子は興味がないのか、じっと座って聞いてくれません。行くたびに、ほかのお子さんが静かに聞けないのではないかと、この子にはまだ早いのではないかと考えることもあります。しかし、対象年齢は0歳からとなっていますので、この子も何回か通ううちに、耳を傾けるようになるのではないかと期待して、積極的に行くようにしています。



11月の休館日

13日（月）・20日（月）・23日（木）・27日（月）

12月の休館日

1日（金）・4日（月）

開館時間：10:00～18:00

峰山・あみの図書館は、水曜日のみ19:00まで

※峰山・あみの図書館には、ブックポストがありますので、休館日の返却にご利用ください。
※休館日は、本紙発行日の11月10日以降、次号発行日の12月8日までを掲載しています。

京丹後市の文化財 二天

久美浜町宗雲寺

玄圃霊三関係資料

（げんぼれいさんかんけいしりょう）

今回は、久美浜町にあります宗雲寺の玄圃霊三（げんぼれいさん）関係資料についてご紹介します。

室町時代の宗雲寺は、常喜院（じょうきいん）という寺であり、福知山市天寧寺（てんねいじ）を開いた愚中周及（ぐちゅうしゅうきゅう）の弟子にあたる千畝周竹（せんみょうしゅうちく）が、永享（えいきょう）四年（一四二三年）に再興したものです。天文（てんぶん）七年（一五三八年）の『丹後国御檀家帳』には、「大寺也丹後国僧衆の本寺也」と記されており、当時の寺勢がしの

ばれますが、その後の戦乱の中で退転したと伝えられます。

その後、天正（てんしょう）十年（一五八二年）に細川氏重臣の松井康之が久美浜に入ると、父正之の菩提を弔うために、叔父の玄圃霊三を請じて再興し、正之の法号から寺名を「常喜山宗雲寺」と改めました。この後、臨済宗南禅寺派の寺院として現在に至ります。

玄圃霊三は、天正十四年に南禅寺第二六六世となっていますが、その後も宗雲寺住持を兼務していた関係から関係資料が宗雲寺に残されています。

玄圃霊三

絹本着色玄圃霊三像（宗雲寺）



関係資料は、絵画・書跡・文書があり、絵画には、絹本着色玄圃霊三像があります。

いちょう）九年（一六〇一年）に描かれ自賛したものであり、霊三没後の慶長十四年に追賛されたものです。天正十年の漢倭連句と天正十八年の倭漢連句は、いずれも連歌会の際に記されたものです。玄圃霊三をはじめ細川幽斎・中院通勝などが詠じています。このほか霊三の漢詩文などが残されています。

文書には、霊三から宗雲寺留守衆への書状や、細川忠興・京極高知の寄進状・禁制などがあります。このほか、天正十四年五月に関白豊臣秀吉が、霊三を南禅寺住職に任命した際の書状や、常喜院時代の康正（こうしょう）三年（一四五七年）の「常喜院規式」が残されています。

玄圃霊三関係資料は、織豊期以降の宗雲寺の様子がよくわかる資料であり、あわせてそれ以前の常喜院時代を含む資料として貴重なものであることから平成十一年三月十九日付けで京都府指定文化財（歴史資料）に指定されています。

これらの資料は、中世の久美浜を物語る上で重要な資料であり、丹後古代の里資料館にて開催しています。秋期特別展示「久美浜から久美浜へ」の前期展示（十一月十九日まで）において、資料の一部を展示しています。

市史編さん事業 市内文化財調査を実施



「峯山藩関係文書」調査



宝泉寺仏像調査

市が進めている市史編さん事業では、市内文化財の調査を実施しています。九月十一日から十三日には、編さん委員の関根俊一教授（帝塚山大学）などが、久美浜町内の仏像調査を行いました。調査は六か所で実施し、仏像の実測、写真撮影などを行いました。また、九月二十九日・三十日には、編さん委員の水本邦彦教授（京都府立大学）などが、「峯山藩関係文書」の調査を実施。解読した文書の読み合わせや、パソコンへの打ち込み作業などを行いました。これらの調査成果は、今後発行する京丹後市史の中で、活かすことにしています。

天明の一揆における義挙を後世に伝える「天明義民追頌碑」を建立 天明義民顕彰会

天明二年（一七八二年）から続いた凶作での大飢饉により、天明四年に久美浜町で起こった一揆の首謀者として捕らえられた、小國一角（佐野村）、野村佐右衛門（永留村）、今井又兵衛（栃谷村）の三人の義挙を後世に伝えようと、地元の名義民顕彰会（小田秀治会長）のみなさんが寄附を募られ、三人の菩提寺である妙久寺（久美浜町永留）に「天明義民追頌（ついしよう）碑」を建立されました。

天明二年からの天候不順による凶作は、多くの餓死者を出す「天明の大飢饉」となり、重税に苦しみ忍耐の極限に達した数万人とも言われる農民が、天明四年十月九日の夜、岩手峠に集結し、久美浜へ一揆として押し寄せました。

いち早くこの動きを察した代官が、表向きは要求を認め一揆を解散させましたが、近隣の諸藩に出兵を要請し、一揆の關係者を捕らえ、首謀者である小國一角は大阪に送られ牢死し、また野村佐右衛門は打ち首に、今井又兵衛は遠島になったと伝えられています。

同顕彰会は、この義挙を決して風化させはならないと、多くの住民のみなさんから寄附を募るなど、昨年春から追



式辞を読まれる
天明義民顕彰会
山形惣一副会長



頌碑の建立に取り組まれてこられました。同寺の蓮（はず）池のそばに設置された「追頌碑」は、御影（みかげ）石製で、幅二一〇センチ、高さは台座を含め約二四〇センチ。

一揆当日の十月九日に開かれた「建立竣工式」には、地元住民のみなさんをはじめ、中山市長や市議会議員、学校関係者など約七十人が出席し、読経の後、「追頌碑」の除幕を行い完成を喜びました。来賓として出席した中山市長は「住民のみなさんの真心による建立であり、尊い行為・お心を改めて認識するとともに、広く市民のみなさんに知っていただき、永く後世に伝わることを願います」とお祝いの言葉を述べました。

華やかな“よさこい踊り”で ちりめん丹後 夢よさこい

京丹後の魅力を発信



息のあった華やかな踊りが来場者を魅了

秋晴れのもとすがすがしい風をあびながら、家族連れ的笑顔が会場いっぱいになりました。

「よさこい踊り」を通して丹後の魅力を発信する「ちりめん丹後夢よさこい」が、九月二十四日に丹後あじわいの郷（弥栄町鳥取）で盛大に開かれ、パワーあふれるステージが来場者を魅了しました。

同イベントは、丹後の魅力のPRとともに地域の活性化を目的に、京都府商工会連合会と京都北部商工会連絡協議会が主催し毎年開かれているもので、踊りや衣装、音楽の中に「丹後」をイメージする表現を取り入れた丹後地方独自の「よさこい」祭りとして定着しています。

五回目を迎えた今回は、島根県出雲市や大阪府守口市など、西日本各地から集まった二十二チームが参加。そのいのでやかな衣装に身を包み、一糸乱れぬ躍動感に満ちた熱気あふれる踊りが、見ている人に「元氣」を与えてくれました。

また、今回は、課題曲にあわせて独自の踊りを競う「よさこいコンテスト」や、着物を身近に感じてもらう「きものショー」など趣向をこらした催しも開かれ、

人口・世帯数

| | |
|-----|----------|
| 男 | 31,009人 |
| 女 | 33,458人 |
| 計 | 64,467人 |
| 世帯数 | 22,060世帯 |

(10月1日現在)

発行/京丹後市役所 編集/秘書広報広聴課
 〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
 ☎0772-69-0110 FAX0772-69-0901
 ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>
 E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp